

特定非営利活動法人 宇都宮市知的障害者育成会会報

# おいちょう

令和7年3月31日発行 (第59号)



## 福祉サービス利用は何のため？

理事長 池本 喜代正



先日、障がいのある子（成人）を持つ保護者たちの話し合いの場で、全く福祉サービスを受けていないという方がいました。そのお子さん（Aさん三十歳代）は軽度な知的障がいがありますが、小・中学校では通常の学級で学び、そして一般の高校を卒業し、現在は一般就労しているとのこと。Aさんと家族の生活は現在のところ、特に問題はないそうです。お母さんとして、「うちの娘は障がいがあるため、何もサービスが受けられない」と捉えていたようでした。しかし、話し合いの中で「Aさんだって療育手帳を有しているならば、移動支援を利用することができんじゃない」と提案がなされ、市役所と相談するという道が開けました（その後、保護者は障がい福祉課に相談、登録）。

ご存じのように移動支援事業は屋外での移動に困難がある障がい児者に対

して外出の支援を行うものです。例えば本人が一人でデパートにショッピングに行くときにも利用できます。これまでは保護者と一緒に行っており、特に必要ないと考える方も少なくないでしょう。でも本人にしてみると、自分のペースで自分の好きなショッピングに行き、ぶらぶら見て歩くことを楽しみたいかもしれません。私も以前知的障がいのある人と大学生とでショッピングモールで買い物をしてフードコートで自分の好きな昼食を選び一緒に食事をするという活動を行ったことがあります。同性の同年代の小グループでショッピングをしているときの表情は、いつもより楽しそうに見えました。大人になると親とは別に行動したいという気持ちがあるのは当然です。そしてこうした経験は、家族以外の人と関わる経験であり、自分の意思が尊重される経験でもあります。換言すれば、

障がいのない人は普通にやっている生活です。障がいのある人も普通の生活ができるための条件整備が合理的配慮です。障害者差別解消法によって合理的配慮を要求するのは当然の権利であり、行政や企業は合理的配慮を提供するのが義務となっています。

障害者の歴史は、第二次世界大戦前は権利侵害がずっと長く続いてきた歴史ですが、戦後から現代にかけては徐々に権利獲得が進んでいる歴史であると言えます。我が国においても国連の障害者権利条約（二〇〇六）以降、障害者福祉制度の充実が図られてきていますが、障害者福祉サービスは本人の豊かな生活を送るための必要な合理的配慮であり、積極的に福祉サービスの活用を進めていきたいものです。

福祉サービスは親が楽をするためのものではなく、本人の生活を豊かにするものです。ぎりぎりまで親が障がいのある子どもの面倒を見て、限界が来たら施設やグループホームという考えは好ましいものではありません。「成人になったら親から離れて暮らす生活」、「親が元気で動けるうちに福祉サービスを利用し、地域で暮らす」ことを目指していきたいものです。



## 研修委員会報告

佐々木 洋二

令和六年度の研修委員会の活動報告をいたします。令和六年十一月八日、河内総合福祉センターにて「知的障がい者の豊かな生活を求めて」と題した研修会を開催いたしました。講師は池本理事長にお願いし、関連団体含め五十余名の方が参加されました。研修後のアンケートからは「障がいの歴史」「老障介護の問題」や「親と子の関係性」など分かり易くお話いただき大変有益だったとの感想を多くいただきました。

また、令和六年二月八日、姿川地区市民センターにて職員向けの研修を行いました。「障害とは何か?&障害者と関わる意味」と題し「ICF（生活機能モデル）の活用」について池本理事長からご講話をいただきました。ご講話の後に職員の方々が日頃作業所内で疑問に思っていたことや知りたかったことなどについて相互に意見や情報の交換を行いました。今後の仕事に役立つ多くのヒントが共有されたものと思います。

今年度の研修は、関連団体への声掛けや職員向けといった新しい試みを行い一定の成果が得られました。要望の多いテーマに沿って次年度以降も有意義な研修を計画していきたいと思っております。



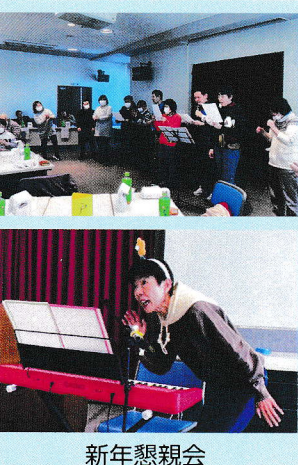
## 行事委員会報告

石川 順子

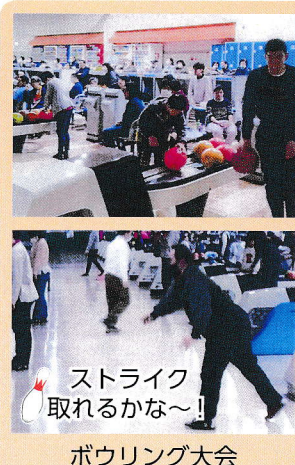
令和六年十一月十日、佐々木佳子様を講師に迎え、料理教室を開催致しました。ガパオライスと、さつま芋のレモン煮を作りました。

同年十二月八日、池本理事長に始球式をしていただき、ボウリング大会を開催致しました。

同年十二月二十二日、安部孝子様ご指導の下、お正月飾りを作りました。令和七年一月二十六日、新年懇親会を開催し、大嶋いづみ様による歌やトークと、ビンゴゲームを楽しみました。



新年懇親会



ストライク  
取れるかな～!  
ボウリング大会





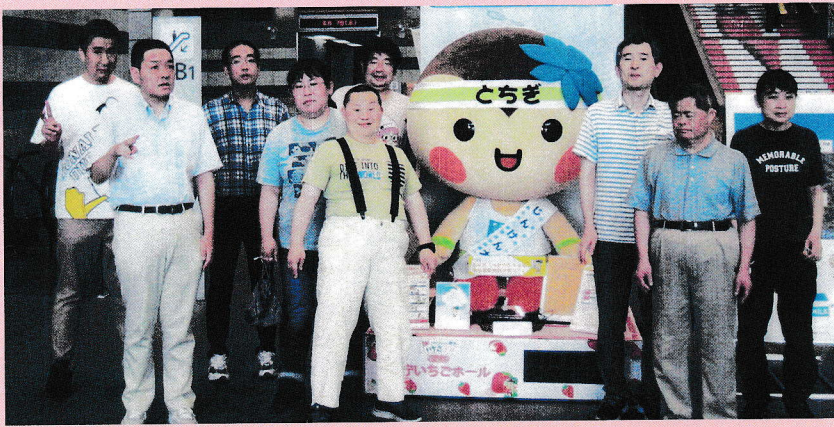


寒い日も、暑い日も元気いっぱいの大曾作業所のみんな。一番好きな事はお仕事です。細かい作業もどんなことなします。同じくらい好きな事は、外食したり取り寄せたりの食事会。メニューを選ぶ時の笑顔が見たくて、支援者はおいしいお店を捜し続けています。

## 作業所だよ 大曾作業所



🍓 階 いいながめだなあ (15F 展望フロア)



県庁に行きました！



誕生日おめでとう！！



和菓子作り体験



素敵な笑顔



蛸屋おかしパークにて



クリスマス会



# かわら版

## ☆おめでとうございます

第十八回宇都宮市民福祉の祭典が十一月二十三日に開催され、次の方が表彰されました。

団体長表彰  
藤野 一二様

## ☆ご寄付ありがとうございます

一月、(株)むぎくら様、(株)むぎくら麦親会様よりご寄付をいただきました。



一月、特定非営利活動法人とちぎ障害者労働自立センターゆめ様より戸祭作業所にパナソニックパーソナルファックスを一台ご寄付をいただきました。多大なるご寄付をいただき誠にありがとうございました。

## ☆お世話になりました

石崎 三世様(第二戸祭作業所)

## ☆よろしく願います

荒井 仁美様(第二戸祭作業所)  
安齋 則子様(第二戸祭作業所)  
佐川 浩光様(大曾作業所)

## 令和七年度行事予定

『栃木県障害者スポーツ大会』

五月二十五日(日)

『栃木県総合運動競技場(予定)』

『定期総会』

六月十五日(日)

『宇都宮市総合福祉センター』

『親子レクリエーション』

七月十三日(日)

『アクアワールド大洗』

『栃木県民福祉のつどい』

八月二十一日(木)

『宇都宮文化会館』

『うつのみやふれあい文化祭』

九月二十日(土)

『宇都宮文化会館』

『うつのみやふれあいスポーツ大会』

十月十八日(土)

『ブレックスアリーナ宇都宮』

『カルフルとちぎ』

十一月月上旬(詳細未定)

『関ブロ大会』東京大会

十一月八日(土) 九日(日)

『日本工学院専門学校』

『料理教室』生チョコ作り

十一月十六日(日)

『とちぎ福祉プラザ調理室』

『宇都宮市民福祉の祭典』

十一月二十三日(日)

『宇都宮市総合福祉センター・他』

『交流会(ボウリング)』

十二月七日(日)

『第二トリーボウル』

『刺繍に挑戦してみよう』

十二月二十一日(日)

『育成会事務局』

『新年懇親会』

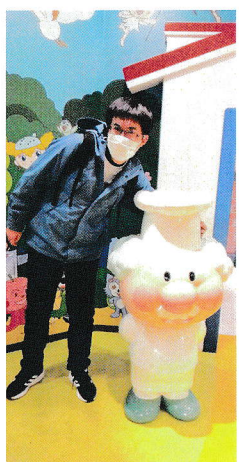
令和八年一月(詳細未定)

## 会員だより

加藤 智久

僕はグーフォ・かわちに通所しています。農園芸班の作業を頑張っています。野菜やブルーベリーや花の苗など皆で育てています。

休みの日には、旅行に行きたいです。全国にある動物園、水族館、アンパンマンミュージアムに行ってみたいです。



## 宇都宮市からのお知らせ

令和七年四月をもって、福祉手当支払通知書の送付を終了します。

【対象者】心身障がい者福祉手当または難病患者福祉手当を受給している方

※この手当は、4・8・12月の15日に支給しています。8月以降の支給内容については、通帳などでご確認ください。

問合せ先

宇都宮市障がい福祉課  
☎(632) 2361

## 編集後記

今年には巳年です。蛇は「脱皮」をすることから「再生」や「復活」につながる縁起の良い年と言われています。また、新しい事が始まる年とも言われ「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」とも言われるようです。皆さんは何か始めたい事、復活したい事などありますか。私は六十〜七十年代の歌謡曲を楽しんで気持ちが若返っています。何かを始めて一回り成長していきます。

## 宇都宮市知的障害者育成会

### 令和七年度 会費について

七年度の年会費を次のように予定しています。

正会員 四、〇〇〇円  
賛助会員 三、〇〇〇円  
団体賛助会員 一口 一万円

時期になりましたら、また説明させていただきます。何卒よろしく願います。

## 編集・発行

特定非営利活動法人  
宇都宮市  
知的障害者育成会

〒320-0053  
宇都宮市戸祭町  
2118 番地

TEL・FAX  
028-908-8680